

【11月の休館日】
1日(金) 5日(火) 12日(火)
19日(火) 26日(火)

毎月1日・毎週火曜日は休館です。
★10月から開館時間は10時～18時

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-18:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆ぶらんこさんのおはなし会
11/2(土) 11:00-11:30
- ◆大人の折り紙教室
11/6(水) 10:10-12:00
- ◆おはなし会 **乳幼児向け**
11/7・21(木) 11:00-11:30
- ◆上映会 **大人向け**
「BALLAD 名もなき恋のうた」
11/9(土) 14:00-16:20
- ◆おはなし会 **子ども向け**
11/10・24(日) 14:00-15:00
- ◆上映会 **子ども向け**
「がんばれ!ルルロロ ふたりっていいね」
11/16(土) 14:00-14:35
- ◆子どもの折り紙教室
11/23(土) 11:00-11:45
- ◆直方特別支援学校作品展
「きらきらアート展」
11/27(水)～12/2(月)



個性あふれる作品を展示! ☎要申込

愛され続けて20年の節目の開催!

ぶらんこ「絵本のつどい」

「絵本を読む会ぶらんこ」さんが大人向けの読み聞かせを開催。手作りの布絵本展示や、やんちゃりかさんによる演奏や歌声も楽しめます。

日時▶ 11月17日(日)
13:30～15:00



情感ある語り口で本の世界に引き込みます。

場所▶ 1階 ワクワクワ広場
(参加無料)

田川科学技術高等学校展示

「田川科技校紹介します!」

田川科学技術高等学校の生徒が作り全国大会で入賞した木工・工芸作品やロボットを展示。16日(土)は小学生向けワークショップや11時から農作物の販売も行います。



【作品展示】

展示期間 ▶ 11月13日(水)～24日(日)

【段ボールでお神輿づくり】
日時▶ 11月16日(土)
10:30～11:30

定員▶ 10人 **要予約** (小学生のみ)
参加無料 ※3年生以下は保護者同伴
場所▶ 1階 ものづくりラボ

焼かなくても固まる土で作品づくり

土だまで「サンタクロース」

「おしゃれ工房 nonna」さんと自然乾燥で固まる土で作品を作ります。

日時▶ 11月17日(日)
13:30～15:30



場所▶ 1階 ものづくりラボ

定員▶ 10人 **要予約** (小学生以上)
※3年生以下は保護者同伴
材料費▶ 500円

翌月のイベントを少しだけ紹介!

来月のふくちのちは…!?

●食育講座



●しめ縄づくり

※内容は変更になる場合もあります。詳しくはお問い合わせください。

PICK UP

NEXT MONTH INFORMATION

新着本

東大集中力
西岡孝誠/著(大和書房)
一般書
ようこそ「料理が苦痛」
な人の料理教室へ
本多理恵子/著(KADOKAWA)

吉沢久子
すっきり生きる言葉
吉沢久子/著(主婦の友社)
児童書
親って大変!
私たちの子育て手帖
NHK「すくすく子育て」制作班/編(マイナビ出版)

ステラ・モンゴメリー
の冒険2
ジュディス・ロッセル/作(評論社)
児童書
ぼつんころころどんぐり
いわさゆうこ/さく(童心社)

クリーニングやさんの
ふしぎなカレンダー
伊藤充子/作(偕成社)
児童書
ロビンとルパートの
ティータイムやさん
やまだうたこ/著(白泉社)

福智の風

▶10月はじめ友達と初台湾旅行へ。ウキウキもつかの間、到着早々ホテルへのアクセスで意気消沈の所、怖い顔のお兄さんが拙い英語で「どうしたの?」と話しかけてきました。今の状況を伝えると、なんと車でホテルまで送迎してくれることに。言葉は通じなくても心は通じる。「星間ブリッジ」ハルになれた気がしました。(藤本)

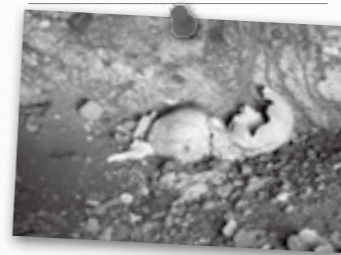
▶最近ようやく、自分で気に入る紙面ができるようになってきました。それでも悩み抜いてやっと完成するページがほとんどで、奥の深い世界だなと日々感じています。担当して今年で3年目。顔見知りも増え、声をかけられることも多くなりました。いつも何か話題が無いか困っていますので、遠慮無く呼び止めてもらえると嬉しいです。(田代)



DATE: Nov.2019
NO: 015

●国指定史跡で貴重な発見

城山横穴群の人骨



当時の生活や健康に迫る貴重な資料
保存整備開始のため、約10年に及んだ発掘調査を終える城山横穴群から出土した2体の人骨。墳墓の時期から、7世紀半ばから後半のものと考えられます。歯や頭蓋骨など保存状態が良好なことから、九州大学の調査で性別や年齢なども判別する予定です。

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

落の墓句会
岩井鬼童選
秋深む翁身過ぎの綱手繰る
大井 良治
動くもの隠して妖し曼珠沙華
落合 東太
長編を読むも気力の良夜かな
高津 澄子
指揮するは誰ぞ今宵の虫の宴
宮崎富美子
胸の奥よぎる詩心や秋の声
藤井耿之介
色鳥の来ては水面に色こぼす
山本ひろし

はな俳句会
岩井鬼童選
稲の花棚田を走る水の音
熊谷カツミ
風神の旗高々と厄日過ぐ
馬郡 京子
日暮れても声を限りに秋の蟬
日高八重子
日を浴びて今年の風の身に入り
井上サワ子
迎火や亡夫の好きな道を行く
藤本 鈴子
夕空に思ひ残して終戦日
山田 花子

鬼杉赤池俳句教室
岩井鬼童選
国境碑いまでも凜とし鳥渡る
建部三由紀
虫の音の夜毎濃くなる草浄土
長副美恵子
濯ぎ物山ほど干せり鴉日和
松岡 萬枝
宿題と残る暑さと聞へり
二宮 正人
残暑なほ地蔵のべべの赤襪せて
西田 真美
還暦の免許更新爽やかに
桂 啓子
爽やかに自動車免許返納す
清原サヨ子
仕事場と二足のわらぢ夜学生
岩井 童子
新涼や鏡に向けば女のととき
植木 千エ
人を見て法を説けよと秋彼岸
倉石嘉代子
赤とんぼ地蔵のべべの色まねて
小六 西田 咲笑
虫の音をこもり歌にし子らねむる
小三 西田 芽生

方城句会
自選
蒼天下赤の寂しき曼珠沙華
藤井耿之介
鏡の向こうに在る絶対0の混沌
檜 幽可